

18歳意識調査 「第20回 -社会や国に対する意識調査-」 詳細版【ドイツ】

日本財団 2019年11月30日

目次

調査概要	3
自身について	5
解決したい社会課題	6
自分の国の将来について	7
自分の国が将来、どのような国になって欲しいか	8
どのようにして国の役に立ちたいか	9

調査概要「18歳意識調査」 -社会や国に対する意識調査-

- エリア** ドイツ
- 調査対象** 各国の17歳～19歳男女
- 回答数** 1000名
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

- 調査除外** 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業
- 実施期間** 2019年9月27日（金）～10月10日（木）
- 調査手法** インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

詳細【ドイツ】

自身について

ドイツ

- ほとんどの人が「将来の夢を持っている」と回答。次いで、「自分は責任がある社会の一員だと思う」が83.4%と高い。そのほか、「自分を大人だと思う」82.6%、「社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している」73.1%、「自分の国に解決したい社会課題がある」66.2%、「自分で国や社会を変えられると思う」45.9%。
- 「自分の国に解決したい社会課題がある」は女性の方が男性に比べ約10pt高い。

Q あなた自身について、お答えください。(n=1000)
(※各設問「はい」回答者割合)

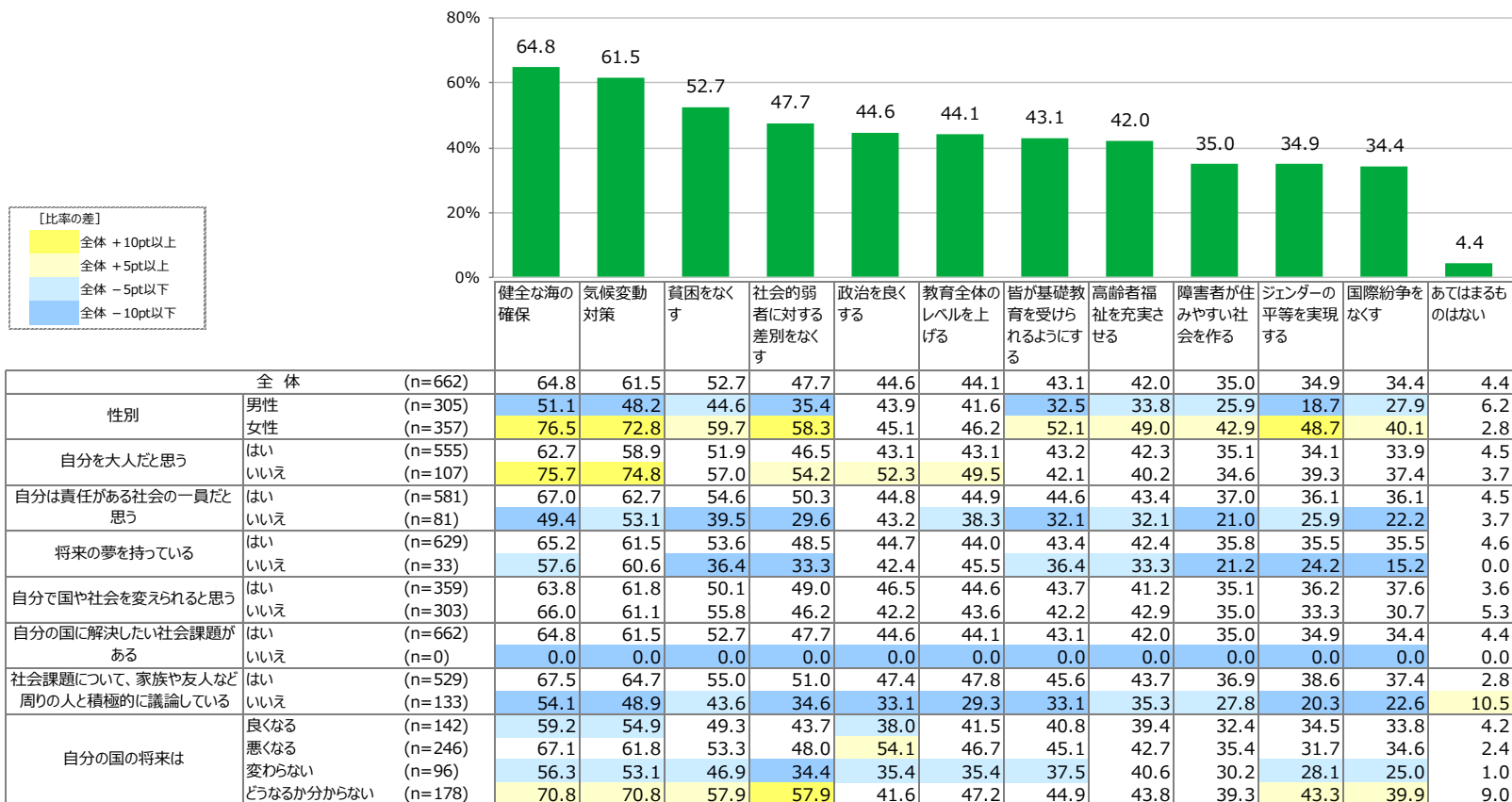
		自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
全体	(n=1000)	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%
性別	男性 (n=500)	86.4%	80.4%	90.6%	47.6%	61.0%	70.6%
	女性 (n=500)	78.8%	86.4%	94.2%	44.2%	71.4%	75.6%
自分を大人だと思う	はい (n=826)	100.0%	84.3%	93.6%	47.8%	67.2%	73.6%
	いいえ (n=174)	0.0%	79.3%	86.8%	36.8%	61.5%	70.7%
自分は責任がある社会の一員だと思う	はい (n=834)	83.5%	100.0%	94.1%	48.9%	69.7%	77.6%
	いいえ (n=166)	78.3%	0.0%	83.7%	30.7%	48.8%	50.6%
将来の夢を持っている	はい (n=924)	83.7%	85.0%	100.0%	47.2%	68.1%	74.1%
	いいえ (n=76)	69.7%	64.5%	0.0%	30.3%	43.4%	60.5%
自分で国や社会を変えられると思う	はい (n=459)	86.1%	88.9%	95.0%	100.0%	78.2%	79.3%
	いいえ (n=541)	79.7%	78.7%	90.2%	0.0%	56.0%	67.8%
自分の国に解決したい社会課題がある	はい (n=662)	83.8%	87.8%	95.0%	54.2%	100.0%	79.9%
	いいえ (n=338)	80.2%	74.9%	87.3%	29.6%	0.0%	59.8%
社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している	はい (n=731)	83.2%	88.5%	93.7%	49.8%	72.4%	100.0%
	いいえ (n=269)	81.0%	69.5%	88.8%	35.3%	49.4%	0.0%
自分の国の将来は	良くなる (n=211)	85.3%	82.9%	95.3%	57.8%	67.3%	74.4%
	悪くなる (n=355)	85.4%	85.1%	91.5%	42.0%	69.3%	74.9%
	変わらない (n=149)	79.9%	77.9%	90.6%	40.3%	64.4%	66.4%
	どうなるかわからない (n=285)	78.6%	84.6%	92.3%	44.9%	62.5%	73.3%

解決したい社会課題

- 解決したい社会課題は「健全な海の確保」(64.8%)が最多。次いで、「気候変動対策」(61.5%)、「貧困をなくす」(52.7%)が続く。環境問題に対する意識が高いことが分かる。
- 全ての項目で女性の方が男性に比べて高いが、特に「ジェンダーの平等を実現する」「健全な海の確保」「気候変動対策」「社会的弱者に対する差別」は差が開いた。

■ 「自分の国に解決したい社会課題がある」回答者

Q あなたが解決したいと思っている社会課題は何ですか。(複数回答) (n=662)

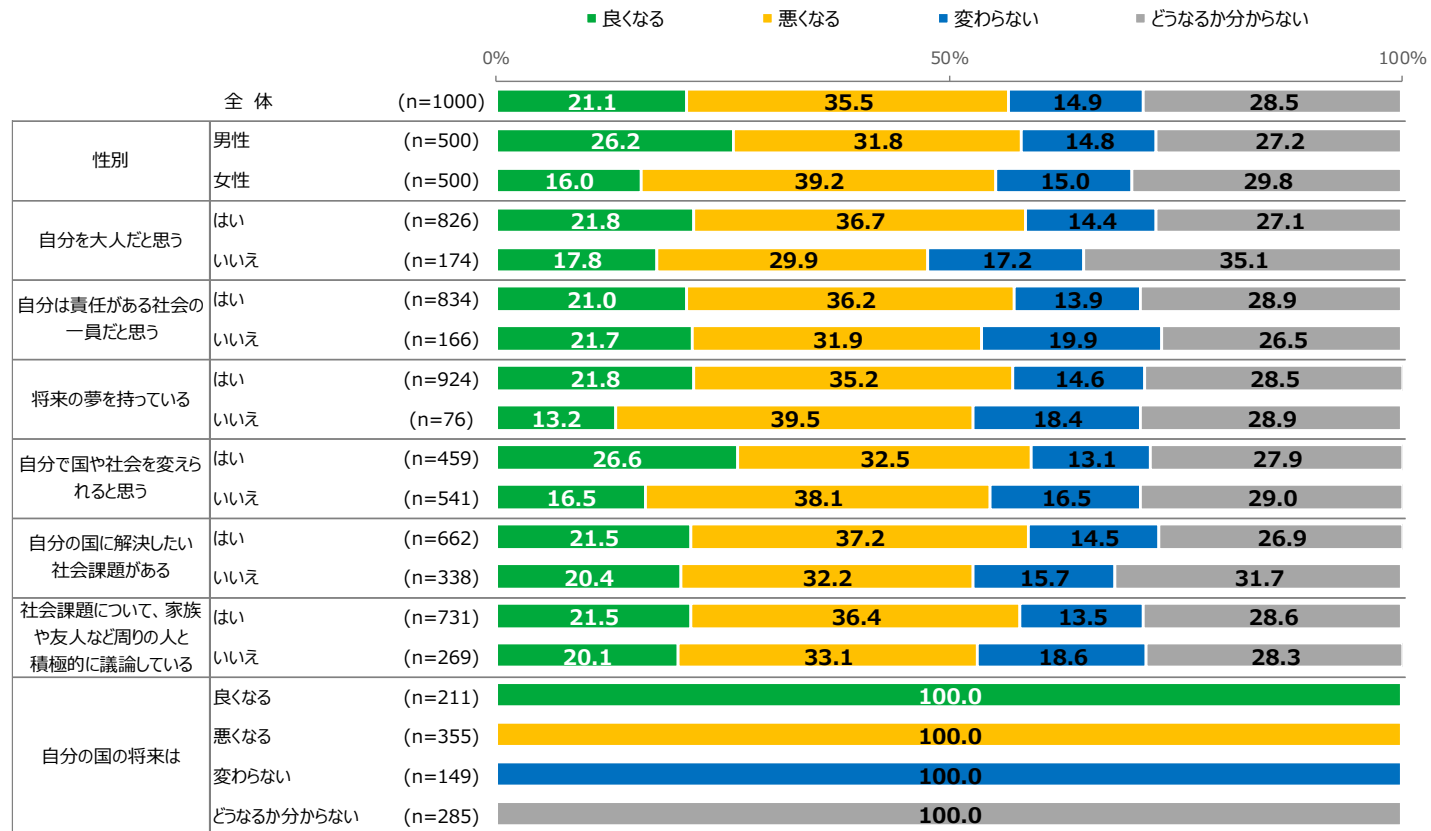


自分の国の将来について

ドイツ

- 「悪くなる」が35.5%と「良くなる」（21.1%）を上回る。また、「どうなるか分からない」が28.5%を占める。
- 男性の方が女性に比べて「良くなる」の割合が高く、「悪くなる」が低い。
- 将来の夢を持っていない層は、「悪くなる」が39.5%、「良くなる」が13.2%と他の層に比べてより悲観的な回答であった。

Q 自分の国の将来についてどう思っていますか。（n=1000）

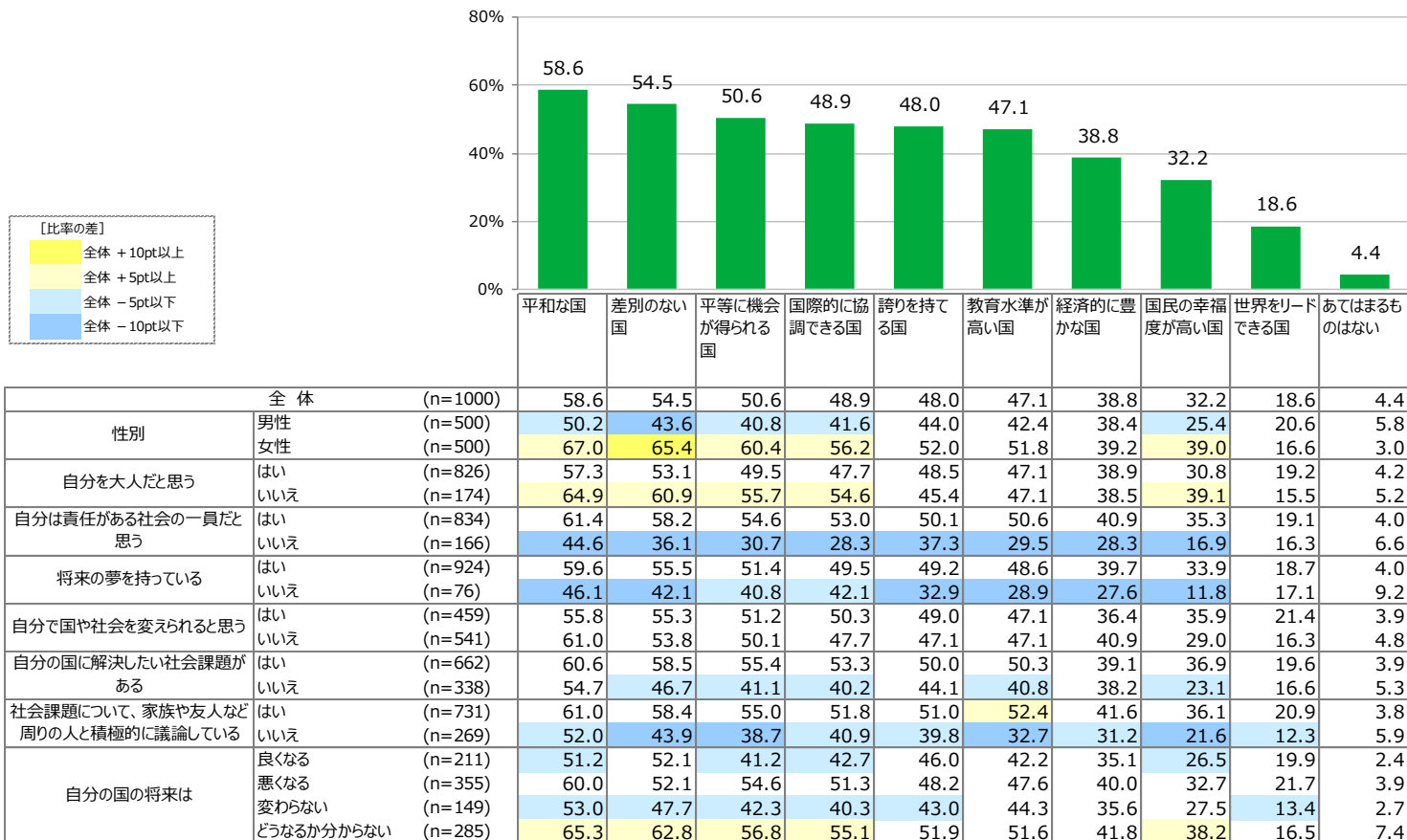


自分の国が将来、どのような国になって欲しいか

ドイツ

- 自分の国が将来どのような国になって欲しいかは、「平和な国」(58.6%)が最多。次いで、「差別のない国」(54.5%)、「平等に機会が得られる国」(50.6%)が続く。
- ほとんどの項目で女性の方が男性より高く、特に「差別のない国」では女性65.4%、男性43.6%と差が開いた。

Q あなたは自分の国が将来、どのような国になって欲しいと思いますか。(複数回答) (n=1000)



どのようにして国の役に立ちたいか

- どのようにして国の役に立ちたいかは、「選挙を通じて政治に参加する」(45.2%)が最多。次いで、「きちんと働き納税する」(35.4%)、「学業に励み立派な社会人となる」(32.5%)が続く。
- 自分は責任がある社会の一員だと思わない層や、将来の夢を持っていない層は、「国の役に立ちたいと思わない」が約2割と高い。

Q あなたは、どのようにして国の役に立ちたいと思いますか。(複数回答) (n=1000)

